

第3回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会

全体会 会議録

◇開 会 令和7年 11月18日(火) 午後 7時30分

◇閉 会 令和7年 11月18日(火) 午後 9時10分

◇会 場 春日福祉センター ハートフルかすが大会議室

- ・委員長 山川 茂則
- ・副委員長 植木 和也
- ・委員 荻野 利直 笹川一太郎 三村 均 小西 和良
- 畑 義一 久下 拓朗 近藤 敏彦 山田 吉晴
- 穴瀬 一正 竹知 直弥 亀田真以子 山本 昌彦
- 矢持 隆次 山内 勝司 原田 雅登 芦田 巧
- 谷口 大貴 足立 賢太 大原 茉央
- ・欠席委員 岸 麻記子 井上 友海 野口 恵里 近藤 賀絵
- ・識見者 簗内文次郎 小田 敏治

〔事務局〕

- ・教育部長 山本 浩史
- ・学校教育課長 小森 真一
- ・教育総務課長 足立 安司
- ・教育総務課副課長兼企画総務係長 足立 真澄
- ・教育総務課学事係長 福垣 恵介
- ・教育総務課 河南 良次
- ・教育総務課 梅田 柚希

(足立教育総務課長)

それでは定刻となりましたので、ただいまより第3回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会を始めさせていただきますと思います。

本日の資料につきましては、事前に送付させていただいていますが、お手元に資料が無い方がおられましたら、お申し出ください。

次に、前回会議と同様に、委員の皆様方をお願い事項がございます。

1点目は、会議のご発言についてです。ご発言の際には、職員がマイクを持ってまいりますので、お名前を発せられてから、ご発言くださいますようお願いいたします。2点目ですが、本日の会議は、公開をしております。また、報道関係者による写真撮影等がある場合もありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。最後に3点目ですが、会議の終了時刻についてです。会場は22時に閉館となります。後片付けの関係もありますので21時30分までには会議を終えたいと考えていますのでご協力をお願いします。

それでは、1の開会に入りますが、以降については、山川委員長の方でよろしく願いいたします。

次第

1 開会

(山川委員長)

皆さんこんばんは。夜分お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。第3回丹波市春日地域市立小学校統合検討委員会を開会させていただきます。気温もだいぶ下がって寒くなってまいりましたので、お体に気をつけていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは次第の2に移ります。事務局より前回会議について説明をお願いします。

次第

2 前回会議の主な意見

資料1をご覧ください。8月28日に開催しました第2回検討委員会の会議録になります。会議の冒頭に、複数の委員から相談があったことについて共有いただいています。特定の団体から、複数の委員あてに検討委員会に関する要望書が届いたと報告を受けまして、今後の文書の送付については検討委員会宛てとしていただくように、団体に申し入れを行うことを委員の皆様にご了承いただきました。

2ページの報告・協議事項としまして、(1)青垣地域市立小学校、市島地域市立小学校の統合経過の概要、(2)青垣・市島地域等の統合協議の整理、市島地域市立小学校の統合に係る整備内容、(3)区域外就学制度と学校選択制について、事務局より説明しました。委員の主な意見としましては、春日地域市立小学校統合検討委員会も地元説明をしていかないといけないと思うが、反対意見も出てくると思うので、市島地域ではその対応をどのようにされていたのか等の意見をいただきました。

また、他の委員の意見としまして、統合準備委員会の段階になると、教育委員会から準備委員会の決定事項等がまとめられた資料が発行されていたので、春日地域においてもこの検討委員会の段階から発行してもらえると分かりやすいという意見をいただきました。

次に3ページになります。船城小学校の統合検討と春日地域の小学校全体の考え方について、委員で意見交換の結果、船城小学校と黒井小学校の統合検討について、船城地区と黒井地区で地域部会を設置し協議することが決定しました。また、検討委員会全体会では、春日地域の小学校全体の在り方について、今後も継続的に協議することが決まりました。委員の主な意見としまして、船城地区と黒井地区の合意形成がないと、この検討委員会で統合の是非が考えられない、ある程度の合意形成をとってもらってその方向性をこの検討委員会に持って帰ってきてもらってこの検討委員会で是非を問うのがよいという意見がありました。

次に4ページになります。地域部会では黒井小学校と船城小学校の統合を検討し、全体では春日地域の小学校全体を検討していく、地域部会で方針が出たらこの検討委員会に報告を上げていただくという進め方をさせていただいたらという意見がありました。

次に5ページです。春日地域の小学校をどうするかも考えないといけない、春日全体で答えをもっておかないと、住民に説明した時に大路小は置きっぱなしと言われて検討していないとは言えないので、全体会は継続して開催してほしいという意見がありました。また、この検討委員会は長くかかると思うので、統合を待つ前に今何かできることがあればしてあげることはないか、統合が決まるまでの間何かフォローしてあげられたらという意見がありました。

続いて6ページ、事務局の発言です。船城小学校と黒井小学校の統合の方向性を検討いただく地域部会を設置する。地域部会の位置づけについては、現在の設置要綱の中で定め、改正については事務局に一任いただくということで発言させていただいています。

続いて9ページになります。前回第2回の検討委員会のまとめを記載しています。船城小学校と黒井小学校の統合検討については、検討委員会の地域部会を設置する。初回は黒井地区委員、船城地区の委員だけで集まる。検討委員会の全体会では、春日地域の小学校全体の今後の在り方について今後も継続的に協議する。

つづいて、前回の第2回検討委員会資料(「青垣、市島地域等の統合協議の整理」)の訂正資料をつけています。資料に黄色のマーカーを引いている箇所です。竹田・前山小学校の統合年度の決定というところで、決定した年を令和3年11月としておりましたが、令和4年6月に訂正しております。令和6年4月の統合が決定したのは、令和4年6月の第6回市島地域市立小

学校統合準備委員会で承認されたということになります。今回訂正資料として配付しておりますのでご確認をお願いします。事務局からは以上になります。

(山川委員長)

ありがとうございました。前回の報告と訂正事項がございました。この件につきまして、何かご意見やご質問ありませんか。

(なし)

(山川委員長)

はい、それでは次に進みます。次に、黒井・船城地域部会からの報告事項になります。委員、よろしくお願いいたします。

次第

3 黒井・船城地域部会から報告・協議事項

(山田副部会長)

それでは、資料2をご覧くださいと思います。春日地域市立小学校統合検討委員会黒井・船城地域部会からの報告事項としてご報告させていただきます。第1回の黒井・船城地域部会が10月17日に開催されました。協議内容ですが、地域部会の設置に係る設置要綱の改正について、事務局より説明を受けました。部会長、副部会長の決定ですが、委員の互選により、部会長に黒井地区自治会長会会長の山川茂則氏、副部会長に船城地区自治会長会会長の山田吉晴氏に決まりました。部会のメンバーや住民学習会、今後の協議事項について委員で意見交換を行いました。委員から出た意見としまして、部会のメンバーを増やすべきではないかという意見、現在のメンバーで協議出来るところまで協議を進めていって必要があればメンバーの追加を検討すればよいという意見が出ました。また、住民や保護者の学習会の開催に関する意見が出ておりました。

最終的に第1回の決定事項、まとめとしましては、正副部会長の決定と、次回会議までに次の2点について事前に事務局に報告し、そこで出た意見や提案をもって次の部会で協議することに決まりました。まず1点目は、地域部会として今後協議する必要がある内容について意見や提案をいただきたいということ、次に2点目は、委員個人として知りたいことや不安に思うことについて意見、提案をいただきたいということです。ここで出た意見や提案を事務局でまとめていただいて、次回の会議の協議事項とすることになっています。第2回の地域部会につきましては、12月17日(水)19時30分から、ハートフルかすがで行うことになっています。

(山川委員長)

ありがとうございました。委員より地域部会の報告がございました。この件につきまして、何か質問やご意見ありますか。

(なし)

(山川委員長)

次は、報告・協議事項ということで、「今後の春日地域市立小学校の在り方」について意見交換ということで5テーブルに分けさせていただいておりますので、付箋紙に意見を書いていただいたりして、それぞれの意見を言っていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。司会については事務局お願いします。

次第

4 報告・協議事項

(1) 『今後の春日地域市立小学校の在り方』について意見交換

(足立教育総務課長)

「今後の春日地域市立小学校の在り方」の意見交換について説明させてい

いただきます。このあとグループの中で意見交換していただいて、最後に発表をお願いしたいと考えています。あらかじめ、地区や所属団体ができるだけばらばらになるように、4人から5人程度のグループ分けを事務局でさせていただきます。そのグループで、「今後の春日地域市立小学校の在り方」をテーマに意見交換いただきたいと考えております。

意見交換につきましては、各テーブルに付箋紙、マジック、模造紙を用意しています。付箋紙に意見を書いていただいて、その付箋紙を模造紙に貼っていただきながら、グループ内で意見交換いただければと思います。各グループの司会進行につきましては、申し訳ございませんが、自治会長会の会長にお世話になればと考えております。意見交換のテーマは、先ほど言いましたように、「今後の春日地域市立小学校の在り方」です。今までの会議を通じて委員の皆様が思われていることや気になっていること、疑問点等どんな意見でも結構かと思ひます。また、テーマに沿っていなくても結構です。忌憚のないご意見をお願いしたいと思ひます。

意見交換にあたって、いくつかのルールがあります。参加されている皆様のためのルールでございますので、ご了解いただき、守っていただきますようお願いいたします。

別紙として「話し合いのルール」を配付しています。年齢に関係なく、誰もが等しく話し合いに参加をお願いします。ご自身とは違う考えや思いも出てくるかと思ひます。一人ひとりの考えを大切にし、その考えに対して否定したり、話を遮ったり、意見を押し付けたり、そして話を独占したりすることがないようにお願いしたいと思ひます。意見の違いもあろうかと思ひますが、そのまま受け止め、批判をせず、同じことと違うことを受け入れて話し合いをしていただきたいと思ひます。また、誰々がこのような話をされたということを他の場所等で言わないようにしてください。資料に記載していますように、どんな話をしても間違いはありませんし、そのようなことがあれば今後の会議においても意見を出しづらいということにもなります。安心して安全な雰囲気の中で気持ち良く話せることを大事にして意見交換をしていただければと思ひますのでよろしくお祈りします。意見がまとまってなくても結構かと思ひます。思われたことを発言いただいたらと思ひます。一度言ったことでも意見が変わることもあろうかと思ひます。そういったことも結構ですので、何でも話せるような環境の中で意見交換していただければと思ひます。繰り返しになりますが、委員の皆様が安心して気持ち良く意見を言えるような場にしてください。

最初に自己紹介をしていただいて、次に、グループで出た意見を最後に発表する方を決めていただきたいと思ひます。その後、付箋紙に意見を書いていただく時間をとっていただいたのち、意見交換に入っていただければと思ひます。意見交換は20時30分を目途にさせていただければと思ひます。意見をまとめていただく必要はありません。発表される方はグループで出た意見を情報共有として発表いただければと思ひます。それでは、グループで意見交換をお願いします。分からないことは職員にお尋ねください。よろしくお祈りします。

グループごとに意見交換（A～Eグループ）

（足立教育総務課長）

20時30分まで残り5分になりましたが、まだまだ意見が出ているようでございますので、20時45分まで延長させていただきます。グループの意見をまとめていただく必要はありません。出た意見をお伝えいただければと思ひます。

グループ発表

(足立教育総務課長)

それでは、時間になりました。ご意見はまだたくさんあるかと思いますが、一旦ここで意見交換については終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。

それでは、グループごとに、出た意見を発表していただきたいと思います。こういった意見が出たということで発表いただけたらと思いますので、よろしくお願いします。Aグループのほうから順番によろしくお願いします。

(委員)

Aグループ発表させていただきます。よろしくお願いいたします。

Aグループとしては、最初に小学校の在り方について、どういうふうにしていくかという話をしておりましたが、今の黒井、船城の話だけではなく、将来的なことを見据えて黒井・船城で西部、進修・春日部・大路与東部を考えながら、最終的には一本化ということも頭に置いておかないと、また新しく部会をつくる、検討委員会をすることになったら、かなりの労力と時間も必要となってくるので、せっかくこういう良い機会ができていいる間に、そういうところも考えていくべきではないかという話が出ました。

また、地域の合意形成について、順序や方法もしっかりまとめていかなければいけないなというふうに思いますし、また将来的に、例えば小中一貫校という形で、例えば中学校の隣に小学校を建てればいろんなことができるし、すごくスムーズにできるのではないかなという話も出ました。

また、統合するともし決まった場合に、統合するまでに統合準備委員会等を挟むとかなりの時間がかかると思います。今も年に数回行われていると思いますけれども、その間に子どもたちの交流会というのをもっと頻繁に活発にやって、(子どもたちも)このメンバーでやっていくという意識付けをしていったほうが、よりスムーズで子どもたちの心の迷いもなくなるのではないかなというふうに考えております。

あとは、こどもの意見を聞くのもどうかという話も出ておりました。ただそれは全部が全部それを鵜呑みにするというのはなかなか難しいので、あくまでも参考という形で、次に上がってくる1年生や、卒業する6年生の話を少しかいつまんで、情報として取ればいいのかというふうに思います。

最後に出てきた意見は、統合後の地域をどうするのかという話が出ました。統合後、小学校がなくなるということになると、やっぱり地域交流をする場というのがなくなってしまうと思いますし、またその後の管理等を自治会にお願いされるということもあるので、地域交流がなくなるというのは、地域がどんどん廃れていく理由の1つにもなってくるかなと思いますので、そういったところも考えていく必要があるかなと思います。

また、今後自治会としても、保護者としてもどうしていくかという話で、説明会をするのが先なのか、それともアンケートをするのが良いのか、今のところどうするのが良いのか、どういうふうにしようかなというのは、すごく自治会としてもPTAとしても迷っているところかなと、少し不安な意見が最後に出てきたので、報告させていただきます。以上です。

(足立教育総務課長)

ありがとうございました。

続きまして、Bグループのほうから報告をお願いします。

(委員)

それでは、Bグループの発表させていただきます。よろしくお願いします。

Bグループでは、題目がぼやっとした感じだったので、2項目について話し合いました。

まずは、小学校の在り方を考えるにあたって、どういうことをしたらいいのかということで、勉強会をしたいという意見です。まずは有識者や民生委

員、児童委員の人など、こどもたちに一番触れ合っている方たちに今のこどもたちの現状の話を聞いて、統合に関してメリット、デメリットはどういうことがあるのかについて、一番こどもに触れ合っている方の意見を聞くという意見です。また、統合した学校の見学や統合準備委員会に入っておられたメンバーの方との意見交換会、統合した学校のこどもや保護者、先生の話聞く場を持ちたいということで意見が出ました。

もう1項目は、認定こども園についてです。春日地域は認定こども園が2地区に分かれています。どうしてこのようにこども園ができたかという経緯を考えていくと、今後の春日地域の小学校のことだけじゃなくて、こどもたちのことが何か分かるのではないかと思います。あと、地区分けをされるときに、何でこういう地区分けになったかという経緯を勉強したいなという話が出ました。認定こども園が2つに分かれていますので、黒井と船城が一緒になるのであれば、森の子園の春日部、進修、大路がまず1つになって、そこから今後（春日地域で）1つになるのか、どうするのかは置いて、まずは花の子園と森の子園単位で考えてみてはどうかという意見が出ました。以上です。

(足立教育総務課長)

ありがとうございました。
次にCグループのほうからお願いします。

(委員)

Cグループ発表させてもらいます。よろしくお願いします。

Cグループで出た意見をまとめまして、将来的に20年、30年、40年先になるかもしれませんが、春日町で1校という話でまとまっております。将来的には1校という話ですけれど、それまでは、春日地域以外の隣接の小学校の統合も考えてもらってもいいのではないかなという意見も出ております。各町単位の中での統合という話になるかもしれませんが、丹波市内で考えるのであれば、そういった統合の方向性というのも有りなのかなという意見も出ております。また、こどもが通いたい学校に自由選択してもいいよというのも、1つの手法なのかなという意見も出ております。

また、統合した後に関する意見としましては、春日地域の中で今は5つの小学校があるけれど、その5つの小学校ごとに地区の歴史や特色があると思います。各小学校でそれぞれの特色をいかすような教育をされているとは思いますが、統合した先でも各地区の特色を学べるような教育をしてほしいという意見もあります。

基本的なところになりますが、統合してもこどもたちが楽しく学べる環境、これが一番大事なのではないかなという意見があります。また不登校児童も一定数おられるというところで、そのフォローもできるようにしてほしいです。

統合しますと人数が多くなりますので、授業や学校生活を多人数ですることこどもたちが社会性を育んでいけるような教育をしてほしいという意見もありました。

あと、どんな統合になっても、丹波市教育委員会が対応してくれるであろうというところで、心配はないですねっていうのが、Cグループのまとめた意見でした。以上です。

(足立教育総務課長)

ありがとうございました。
それでは、Dグループのほうからお願いします。

(委員)

Dグループです。Dグループでは、それぞれ4名の方が自分の考えを付箋紙に書いて、それを発表していったわけですがけれども、それをまとめていくと4つの項目に分類できるということでまとめております。

まず1点目は、統合に向けてということです。それから2点目は、今後の地域の在り方がどうなっていくのか。それから3点目は、こどものことを考えてこどもを中心に考えていく。4点目は、地域住民の方の意見も今後聞いていきたい。分類するとこの4つの傾向に分かれてくるということで、まとめさせてもらっております。

1点目の統合に向けての内容といたしましては、今後10年、20年後には、やはり春日で2つの小学校ぐらいになるのではないかなという意見です。認定こども園が森の子園と花の子園に分かれているので、このセットで統合してもいいのではないかなという意見も出ております。

それから、大路、進修、春日部も、今すぐではないけれども、やはり今後統合することも少しずつ考えていかなければならない時期に来ているということ。やはり最終的には春日地域で1校の小学校という意見も出ています。また、地域の中で統合を何回も繰り返していると、費用もかさんでいって、校歌等も何回も作り直さなければならないということになるので、春日地域で1校も視野に入れればどうかというようなことで意見が出ております。

2点目の地域の在り方から考えた場合について、地域から学校がなくなると地域が衰退するというような心配がありますけれども、以前ほど心配は少なくなっているように思われます。また、現在の人口減少や高齢化率の上昇を掛け合わせると、若い人が極端に少なくなってくることが考えられます。やはり学校の規模もその大きな要因になってくるのではないかな、若い人が少なくなってくる中でそういったことも考えられるという意見がありました。人口減少が進んでいくと、この春日地域、5つの地区、そして50近くある自治会の境界が、もうなくなってくるのではないかなという思いです。そうなってくると必然的に学校区の境界もなくなってくるのではないかと。自治会運営が現実的にできないような自治会もあると聞いておりますので、将来的にはこの地域の中の境界がなくなってくるのではないかなという意見が地域の在り方で出ております。

あと、こどものことを考えてということについて、統合に向けては地域住民の意見もさることながら、こどもやその保護者の意見を優先して考えるべきじゃないかと。また、船城と黒井は少しでも早く統合をされるべきだと、大人の気持ちやプライドを優先するよりも、こどもたちのことを一番に考えるべきであると。また、メリット、デメリットを追求していても、それはやはり表裏一体なので、こどもを中心に考えて、この話を進めていくべきではないかなというふうなことが出ています。

それから、地域住民の意見を聞きたいというような項目では、地域の自治会等の意見が想像できないというところで、その地域の住民の意見を聞くことで、視野が広がってくるのではないかなということで意見を聞いてみたいと。また、これまでに大路小学校第一、第二小学校の合併があったわけですが、こういう歴史も勉強したらどうかというようなことで、地域住民の意見も聞きたいという項目に挙げております。以上でございます。

(足立教育総務課長)

ありがとうございました。
それでは、次にEグループ、よろしくお願いします。

(委員)

Eグループの発表をさせていただきます。
Eグループは、メインテーマである「今後の春日地域小学校の在り方」に則って話し合いをしました。個別具体的な話はしておりません。
まず、最初に小学校の在り方とはどのようなものかということですが、提案としましては、春日で1つの小学校でいいのではなからうかと。場所も中学校の横、そこに作れば良いのではないのでしょうか。今、複式学級等の関係

で統合の話をしています。これは仮定ですけれども、極端な話、どうせ将来統合するんだったら、5校区に小学校がありますけれど、これを大学のキャンパス制度みたいに存続しておいて、新たに学校を先に作ってみよう。こどもの人数もどんどん減ってきますから、今は小学校と中学校に分かれていますけれども、小中一貫9年制の制度でやっていただけたらどうかということでした。

なおかつ並行してこの検討委員会は船城小学校の件で動いております。今、黒井地区と話をしていますけれども、例えば、全体的なことを考える場合は、委員会制度みたいなものを作って、その中で校章をどうしようとか、校歌をどうしようとか、それから場所はどこにしようとかありますので、これは地域部会も関係しますけれども、全体でもこの委員会的なものをつくっていただいて個別に考える。今、船城と黒井が統合検討していますけれども、この検討委員会は他の3校区も入っていますので、この春日地域で1校の形で先に検討してくださいと。同時並行で動いたらどうでしょうかということ、話合いました。簡単ですけれども、以上です。

(足立教育総務課長)

大変ありがとうございました。

今日はたくさんの意見が出たと思います。この場でとりまとめることはしませんが、今回の意見を基に、次回の会議でまとめ等をさせていただきたいと思います。

また、次回会議の内容につきましては、委員長と相談させていただいて、会議を進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。大変長時間意見交換ありがとうございました。

それでは、席はこの状態のままで、以降は委員長にお願いしたいと思います。

(山川委員長)

皆さん、貴重なご意見いろいろありがとうございました。

事務局にお聞きするのですが、本日の意見はまとめていただけますか。はい、分かりました。それでは、今回の意見をまとめまして、皆さんに周知させていただき、今後の検討委員会の材料として進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは、(2)その他について事務局お願いします。

次第

(2) その他

(足立教育総務課副課長兼企画総務係長)

各団体においては、そろそろ次期役員の話が出てくる頃かと思っております。この検討委員会は、それぞれの団体組織の代表として出席していただいておりますが、役員改選によって、この検討委員会の代表者も変わるという場合もあるかと思しますので、報告いただきたいと思います。来年の2～3月頃に、正式に依頼させていただく予定としておりますので、あらかじめ御承知おきくださいますようお願いいたします。

次に、「検討委員会だより」についてでございます。これまでの委員会でも話が出ていましたが、他地域における過去の統合協議におきましては、準備委員会が立ち上がった段階以降で、「統合準備会だより」を発行していた経緯がございますが、この春日地域の検討委員会においては、この検討委員会の段階から「検討委員会だより」を発行して周知したほうが良いのではないかとご意見をいただいております。これまで協議いただいた内容や経過につきまして、「検討委員会だより」を発行していきたいと思っております。発行時期については、未定でございますが、記載内容につきましては、正副委員長と確認を取りながら、事務局のほうで案を考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。以上でございます。

(足立教育総務課長)

補足でございます。「検討委員会だより」につきましては、各地区自治協議会を通じて各自治会に配布をお願いしたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

もう1点、委員の改選について補足です。委員の改選につきましては、これからそれぞれの団体で選考ということになるかと思いますが、設置要綱では、委員はそれぞれの団体の代表ということであって、必ずしも会長でなければならないということではありませんので、そういったことも踏まえて委員を検討いただけたらというように思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(山川委員長)

ありがとうございます。

「検討委員会だより」の発行時期は未定と言われましたけれど、事務局忙しいと思いますが、早い時期に発行していただければ嬉しいなと思います。

次第

5. 次回委員会の日程

(山川委員長)

では、次回委員会の日程について、事務局お願いいたします。

(足立教育総務課長)

次回の委員会でございますが、今日のご意見等をまとめた内容を含めて、会議を開かせていただきたいと思います。2月10日（火曜日）又は2月12日（木曜日）に会場を仮予約しておりますが、いかがでしょうか。

特にこの日は都合が悪いということがなければ、2月10日（火曜日）に開催させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、次回2月10日（火曜日）、19時30分からハートフルかすが、大会議室ということで、お世話になりますがよろしくお願いいたします。

次第

6. 閉会

(山川委員長)

ありがとうございます。それでは、だいぶ先ですけれど、2月10日（火曜日）に第4回検討委員会開催予定で、よろしくお願いいたします。

(植木副委員長)

今日は皆様お疲れ様でした。これまでは20数人で1人ずつ話すと、その中でなかなか意見が言えないことがあったと思うのですが、今日のグループワークはすごく活発に意見が出ていましたし、こういうのは大事だなと思います。

今後のご意見の中で、委員会制にするとか、そういった小グループで、来ている人全員が意見を出すという機会も大事だなと改めて思いました。

船城地区と黒井地区で部会もしていますが、この春日地域の小学校の在り方は大事になりますので、それを踏まえた上で、3か月空きますけれど、皆さん意識していただいて、できるだけ良い会になればと思っております。本日はお疲れ様でした。